

### 古川東中

## 思いつなぐレリーフ 今も



👉 **これがイチオシ**

### ボランティア活動に力

古川東中学校では、ボランティア活動に力を入れています。

各部活動でごみ拾いをします。剣道部は学校周り、柔道部は隣にある古川総合体育館周辺などに出向き、手分けして取り組みます。近隣の商業施設の犯罪防止キャンペーンには生徒会執行部が中心となって参加しました。

地域の方々と協力して、きれいで安心安全な街づくりに貢献できたと思います。ボランティア活動をきっかけに、いろんなことに自主的・積極的に取り組んでいきたいです。

学校名 大崎市立古川東中学校  
所在地 大崎市古川旭4の5の1  
創立 1979年  
電話 0229(24)0444  
校長 佐藤 仁  
生徒 632人

古川東中学校は、東日本大震災で被災し、校舎が使用できなくなりまして。近隣の中学校への分散登校や、仮設校舎で3カ月間の生活を余儀なくされた先輩方から聞き取りました。そんな中、神奈川県に住む方から千羽鶴が届くなど、多くの方々から応援をいただきました。

2014年、生まれ変わった校舎に一つの詩が掲げられました。タイトルは「つながり」です。震災当時の古川東中生と一人の先生がつくったものです。支援に対する感謝の気持ちを伝えるために、

昇降口に掲示してある震災を伝える詩「つながり」のレリーフ



編集委員 皆川七南、小沢玲苑、中島龍樹(3年) 及川晴駆(2年)  
指導教員 門脇悠斗、小泉大地、高橋瑞希

### 震災当時の支援に感謝

謝や、友達との支え合いを通じて震災を乗り越えたことを伝える詩となっています。

レリーフは現在も昇降口に掲示してあります。当時の古川東中生の思いを受け継ぐとともに、震災の風化を防ぐ役割を果たしています。

昨年1月にトンガ沖の海底火山の噴火が起こった際には、「今度は私たちが助ける番だ」と、募金活動を行いました。

今後も助け合う心を大切に、より良い学校をつくるために頑張っています。

## わが校わがまち スクール通信



次回は 渡波小(石巻市) 東華中(仙台市)

## 自らあいさつ広がる笑顔

### 天真小



👉 **これがイチオシ**

### 校内でスタンプラリー

天真小学校の6年生は、卒業前に学校を盛り上げるために「天真クイズスタンプラリー」を企画しました。

校舎内を歩きながら、学校にまつわるクイズに答え、正解するとスタンプと折り紙がもらえるゲームです。開催当日は、休み時間に校庭から人がいなくなるくらいたくさんの人が参加してくれました。

6年生みんなで考えた企画なので、全校児童で取り組むことができうれしかったです。これからも、明るく楽しい天真小であってほしいです。

学校名 多賀城市立天真小学校  
所在地 多賀城市鶴ヶ谷2の21の1  
創立 1970年  
電話 022(363)0396  
校長 高橋 大介  
児童 427人

### 運営委員会が取り組み

天真小学校の運営委員会は、5、6年生で構成され、学校生活をよりよくするために活動しています。

委員会の中で、「新型コロナウイルスの影響で全校の行事が少なくなったけれど、きちんと対策をして、みんなで取り組めることがないかな」という意見が出ました。話し合った結果、「毎朝昇降口であいさつ運動」をすることにしました。

合言葉は「あいさつは元気に にこにこ 自分から」。マスク姿で雰囲気は暗く感じたの

活動を通して、あいさつは自分だけでなく、みんなを笑顔にできることを学びました。天真小の伝統として気持ちの良いあいさつがずっと続いてほしいです。



登校して行く子どもたちにあいさつをする運営委員

編集委員 赤間こころ、坂上六花、生田目陸、浜松政孝(3月卒業、中学1年) 指導教員 松本耕平